

18_手術ありの患者の肺血栓塞栓症

b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率

意義: 深部静脈血栓症の危険因子には、加齢、悪性腫瘍、肥満や妊娠、長期臥床など、周術期以外の場面でも発症するリスクがある。ガイドライン通りに予防措置を行ったとしても、肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症を完全に予防できるわけではないが、予防する行為を行っていないければ、その発症率は高まる。

定義の要約:

分子) 分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数

分母) 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

2020年度実績

1人

946人

0.11%

(girasol 全国平均値 0.33%)

